



編集・発行
君津中央病院
☎0438(36)1071



2024.Mar

vol.72

1. 医務局 小児科
2. 看護局 5階西病棟
3. 医療技術局 治験管理室
4. 君津中央病院附属看護学校
5. インフォメーション
6. 当院は「紹介受診重点医療機関」です
7. がん診療よもやまばなし

理念

私たちは、良質で安全な医療を提供し、
地域の皆さまに親しまれ、
信頼される病院をめざします。



日本医療機能評価機構

認定第JC295-4号
一般病院2(3rdG:Ver. 2.0)
2019.8.23~2024.8.22

日本医療機能評価機構とは、市民が
適切で質の高い医療を安心して享受
できるよう、医療機関の機能を学術
的観点から評価する第三者機関です

基本方針

- 1 接遇とサービスに心がけ、心が安らぐ癒しの環境を整えます。
- 2 高度で良質なわかりやすい医療を提供します。
- 3 包括医療を実践し、地域との連携を大切にします。
- 4 救命救急医療体制の確立と小児、周産期及び終末期医療の充実をめざします。
- 5 職員の教育・研修を推進し、自己研鑽に努めます。
- 6 病院で働く人が一体となり、経営の健全化と満足感のある職場をめざします。

医局 小児科

小児科とリハビリテーション

リハビリテーションには、理学療法（PT）、作業療法（OT）、言語療法（ST）があります。小児科では、リハビリテーション科と協力する場面が増えてきました。

0歳から15歳の手術が不要な疾患を担当するのが小児科です。新生児科を退院した、呼吸管理が必要な子、栄養管理が必要な子、離床できない子は小学校入学などを契機に小児科が担当するようになります。私が小児科医師になって32年が経過し、その間リハビリテーションはめざましく進歩しました。かつて低酸素性脳症で重症後遺症が残った子は上唇が短いのが顔貌の特徴でした。上唇をマッサージする摂食訓練により、上唇は歯茎を覆えるようになり、リハビリテーションの効果が目に見えています。

脳性麻痺により、歩行が難しい子に補装具を作成することで歩行を援助することができます。作成に時間もかかり高価なものですが、医師の処方により公的援助が受けられます。生活の質（QOL）を上げることができるので、必要性を見極め、その子に合った形を探していきます。

肥満や21トリソミーなども、小児科とリハビリテーション科が協力して対応しています。肥満の子に運動の習慣をつけるには親の協力が必須で、管理栄養士による栄養指導と同時に行うことで効果が上がっている子もいます。

在宅で訪問看護（当院および、地域の訪問看護センター）、特別支援学校と協力しながら医療的ケアを行っている子が増えてきました。在宅疼痛管理、在宅呼吸管理などすべてを当院が担うわけにはいきませんが、当院緩和医療チームの助言を得ながら地域のクリニックと連携をとりつつ支えている子もいます。必要から生まれた連携です。

コロナ流行中もリハビリテーションは必要なスペースをとり、密を避けながら行われました。言語療法ではウェブ会議システムを使用した指導も検討されました。発達する小児の待ったなしの状況で、言語療法士の工夫は素晴らしいです。

市役所、保健所、民間の小児リハビリ施設、児童養護施設、放課後デイなどの施設を集め、「コアラの会」を開催しています。これまで意見交換会や研修会を通して連携を深め、昨年は発達支援事業所のマップを作成しました。地域で知識と情報を共有し問題を少しでも解決していきたいと思います。

（文責 小児科科長 諏訪部 信一）

令和6年能登半島地震に係る災害派遣医療チーム（DMAT）の派遣について

厚生労働省 DMAT 事務局からの要請に基づき、当院所属の DMAT 第1班（医師1名、看護師2名、業務調整員2名の計5名）を1月11日から現地へ派遣し、1月17日に帰院しました。

1月24日からは第2班（医師1名、看護師2名、業務調整員1名の計4名）を派遣しました。



第1班（空路3名）帰院時



第2班 出発時



看護局 5階西病棟

5階西病棟は泌尿器科、呼吸器外科、婦人科、内科の混合病棟です。

泌尿器科は、前立腺肥大、陰のう水腫、真性包茎、前立腺がんや膀胱がん、尿管がんなどの患者さまを受け入れています。当院ではロボット支援下での手術も行っていて、手術時間も短く、手術の合併症も少なく、入院期間も短縮され、早期社会復帰が可能となっています。

呼吸器外科は、気胸に対して胸腔鏡下で行う手術や癒着術、肺がんに対して手術や化学療法を行う患者さまが入院しています。気管支鏡の検査入院も受け入れています。

婦人科では、子宮がんや卵巣がんなどに対して、開腹や腹腔鏡下で行う手術を受ける患者さまや化学療法を受ける患者さま、子宮筋腫の手術を受ける患者さまを受け入れています。

最近では、検査・治療などの入院期間が短くなっていて、泌尿器科の前立腺生検、呼吸器外科の気管支鏡入院は1泊2日から2泊3日となっています。化学療法も、婦人科では2回目以降は3泊4日と短い入院期間になっています。

また、どの科もインフォームド・コンセント（患者さま・ご家族が病状、治療について十分理解し、また、医療職も患者さま・ご家族の意向やさまざまな状況や説明内容をどのように受け止めたか、どのような医療を選択するか、患者さま・ご家族、医療職、ソーシャルワーカーやケアマネージャーなどと互いに情報共有し、皆で合意する事）を行い、患者さまが納得して治療を受けられるように、看護師、各専門の資格や知識を持つスタッフ、薬剤師、理学療法士などがチームでサポートを行っています。

5階西病棟のスタッフ数は、看護師 35 名、看護助手 2 名、夜間専従看護助手 1 名です。看護師 35 名の中には新人看護師が 4 名含まれていますが、先輩看護師の指導のもと患者さまにも励まされ、日々成長しています。これからもスタッフ一同協力して、質のよい医療・看護を提供していきたいと思っています。

（文責 5階西病棟師長 露崎 美香）



新人看護師



医療技術局 治験管理室



治験管理室では、主に「治験」や「臨床研究」などの研究業務、「がんゲノム医療」に係る業務を行っています。

がんの原因となった遺伝子変化を調べ、治療につなげる

当院は、2022年4月にがんゲノム医療連携病院としての指定を受け、君津医療圏においても「がんゲノム遺伝子パネル検査」が実施できるようになりました。

この検査は、がん細胞のゲノムを調べて、どの遺伝子に変化が起こっているのかを知り、遺伝子の変化が見つかった場合には、その遺伝子の変化に対して効果が期待できる薬剤や治験・臨床試験をデータベースなどで調べます。薬剤の候補が見つかった場合には、その薬剤の使用を検討します。特徴的な遺伝子変化が見つかって、その遺伝子変化に対応した薬剤がまだ存在しない場合や、開発途中で使えない場合もあります。現状では、この検査を受けられる方が限られていることもあり、結果が治療に結びつく可能性は、10～20%程度と報告されています。

この検査では、国内外のデータベースを用いて患者さまへの最適な治療を検討するとともに、膨大なデータを蓄積し、新しい薬剤の開発促進や、開発中薬剤をいち早く患者さまの元に届けるための仕組みづくりが行われています。

一日でも早く、より良い薬を

「治験」とは、医薬品や医療機器について国の承認を得るために行う臨床試験のことです。2019年に突然現れた新型コロナウイルス感染症。あの頃、「治療薬がない」「ワクチンもない」「治験はまだ始まらないの?」と、一日でも早い「薬」の誕生を願った方も多かったのではないのでしょうか。

もちろん新興感染症だけではなく、未だ治療法のない疾患や、今より効く薬はないか、より副作用の少ない薬はないか、小児にも使えないか、そもそも疾病を予防できないかなど、満たされない医療上のニーズは常にあり、「治験」に希望をつないで、日々を過ごされている方もたくさんいらっしゃいます。

一日でも早く、より良い薬を必要とする方々へお届けできるよう、誠心誠意努めて参ります。

(文責 治験管理室長 藤野 綾香)





君津中央病院附属看護学校



「チーム医療論」で千葉医療福祉専門学校と初の共同授業を行いました

本校は、新カリキュラムよりチーム医療論という授業を行っています。医療の現場では、医師や看護師だけでなく他の医療・福祉従事者との連携が求められています。患者さまの支援をするというゴールは同じであっても、それぞれの職種での視点や援助方法は異なります。様々な専門性を高めた1つのチームとして支援を行うことで、患者さまに対し、より質の高い支援を行うことが出来ると考えられます。そこで、本校では近隣の理学療法士・作業療法士の専門学校の学生と共同学習を行うこととなりました。グループを作り、事例に対してどのように支援すべきかを話し合った後、発表を実施しました。他の専門知識を学んでいる学生と議論を交わすことで、学びが深まり、多角的に考える力を身に付けることが出来ました。



看護学生研究発表会

2023年11月17日に開催された第46回千葉県看護学生研究発表会に、本校の3年生(48回生)がwebで参加しました。近年は新型コロナウイルス感染症流行の影響により実習が予定通りに実施出来ず、研究発表を行えない学校もありましたが、今年度は4年ぶりに19校20課程全ての学校が発表出来ました。各校の看護学生が様々な学びを共有することで、「看護とは何か」を探求する力を身に付ける機会となりました。

本校からも、代表の学生1名が研究発表を行いました。『認知症高齢者の持てる力を生かす関わり』と題し、体調の自己管理が困難になった患者さまへの関わり方について発表しました。本番前には緊張した様子でしたが、落ち着いた口調でしっかりと話すことが出来ていました。

他の学生たちも、真剣な表情で研究発表に聴き入っていました。卒業を間近に控えた3年生たちが、看護の現場に出ていく前により多くの学びを得ようとする意欲的な姿勢が感じられました。



健康診断のご案内

就職前に必要な健康診断（雇入時健康診断）や、労働安全衛生法に基づく健康診断（定期健康診断など）を行っています。団体での申込も可能です。



◀健康診断ご利用案内のページ

人間ドックのご案内

病気の早期発見のための人間ドックを行っています。病気はある程度進行しないと自覚症状が現れません。詳しい検査を多項目行うことで、病気の早期発見や、健康診断では発見できなかった異常が見つかることもあります。病気の早期発見・早期治療へつなげるために、定期的な人間ドック受診をおすすめします。



◀人間ドックご利用案内のページ

会計年度任用職員募集のお知らせ

下記職種の職員を募集しています。
募集人数、勤務時間、処遇等については、病院ホームページ又は人事課までお問合せください。

募集 職種

薬剤師、歯科衛生士、作業療法士、理学療法士、調理師、調理員、医療助手、
看護師、看護助手、各事務員

《応募方法》履歴書（写真貼付）、免許証の写し（有資格者のみ）を下記宛に郵送してください。
〒292-8535 木更津市桜井 1010 番地
君津中央病院事務局人事課採用担当 宛
電話番号 0438-36-1071（代表）

職員募集案内のページ▶



がんサロン開催のお知らせ

がんサロンは、同じような悩みを持つがん患者さまやご家族が
病気の悩みや体験などについて語り合う場です。
がんサロンでの出会いや交流を通じて、気持ちの辛さや不安が
少しでも和らげられるようになればと願っております。
ぜひ一度お越しください。

日 時

3月15日(金)、4月19日(金)、5月17日(金)
毎月第3週金曜日 14時30分から16時まで

場 所

4階 講堂1 ※予約は必要ありません。 費用無料です。

お問合わせ先

電話 0438-36-1071(代) 担当：ソーシャルワーカー 保坂 まで

人事行政の運営等の状況の公表

令和4年度人事行政の運営等の状況を病院ウェブサイトに掲載しました。
詳細は、ホームページから
ホーム → 君津中央病院企業団 → 人事行政の運営等の公表 をご覧ください。

当院は「紹介受診重点医療機関」です

当院は、令和5年8月1日付けで「紹介受診重点医療機関」となりました。

紹介受診重点医療機関とは

かかりつけ医などからの紹介状を持って受診いただくことに重点をおいた医療機関です。

○手術・処置や化学療法等を必要とする外来、放射線治療等の高額な医療機器・設備を必要とする外来などを行っています。

○紹介状がなく来院された場合は通常の料金（医療費3割負担等）に加えて「初診時選定療養費（※）」をご負担いただきます。

※国の政策により、紹介状なしで紹介受診重点医療機関を受診した場合には、「初診時選定療養費」の徴収が義務化されています。

✳️ 県内の紹介受診重点医療機関は千葉県のホームページ上で公表されており、当院は君津医療圏唯一の紹介受診重点医療機関となります。（令和5年8月1日時点）

✳️ 当院では、一部、完全予約制の診療科もあり、診療予約には紹介状が必要です。

受診の流れ

かかりつけ医などを受診後、専門的な検査や治療が必要と判断された場合、紹介状が発行されます。当院宛ての紹介状をお持ちの場合は、以下の、**紹介状をお持ちの方の予約専用ダイヤル**にお電話ください。

なお、紹介受診重点医療機関で専門的な検査や治療を受けられた後、症状が安定したら、紹介受診重点医療機関から紹介状を発行して、かかりつけ医などで経過をみていただく流れとなります。

紹介状をお持ちの患者さまは、事前にご予約いただけます

★予約受付先★

患者総合支援センター（pFmセンター） 紹介予約受付担当

TEL **0438-36-1069**（紹介状をお持ちの方の予約専用ダイヤル）

予約受付時間 平日 8:30～17:00

※ 予約の際は、お手元に紹介状をご用意のうえ、お電話ください。

※ 治療内容によっては、当院では対応していない場合もございます。

※ 総合診療科につきましては、科の特性上予約をお受けしておりませんので、紹介状をお持ちになって診療受付時間内に直接来院してください。

紹介状をお持ちの患者さまには以下のメリットがあります。

- 初診時選定療養費（医科7,700円、歯科5,500円）が免除になります。
- かかりつけ医からの情報により診療がスムーズになります。



がん診療 よもやまばなし

第1回

地域がん診療連携拠点病院と標準治療

「がん」という言葉で皆さまは何を思い浮かべますか？決して良いイメージを伴う言葉ではないでしょう。

日本においては、死因の第1位となっている病気です。厚生労働省の二〇二〇年の統計によると、全死亡者数の27.6%

死因が「悪性新生物」となっています。この状態は一九八一年から続いていて、国はがん対策基本法やがん対策推進基本計画という施策で「がん」への対策の充実を図っています。

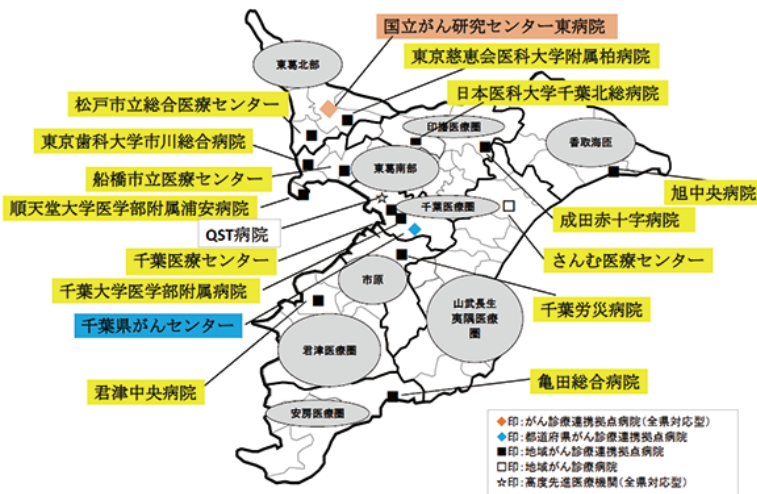
がん診療連携拠点病院は、国のがん対策の政策として「どの地域に居住していても標準的ながん治療をうけられること」を目標として二〇〇一年に創設された制度で、君津中央病院はかなり早い時期から、指定を受けてきました。その後、指定要件が厳格化され、現在に至っています。

地域がん診療連携拠点病院は千葉県内に13施設あります。図中のさんむ医療センターを除く黄色のところ13ヶ所です。（図では、地域がん診療病院のさんむ医療センターも黄色になっています。また、千葉県がんセンターは都道府県拠点病院です。）これらの病院には、適切な医療を行うための人員・設備だけでなく、患者さま・ご家族を支援するためのシステムやスタッフの配置・育成が求められています。

では、地域がん診療連携拠点病院に求められている「標準的ながん治療」ってどのようなものなのでしょうか？

「標準」を鰻重の「並」「上」「特上」の「並」と思われる方も少なくないでしょうが、今日からは「標準」を「スタンダード（standard）」という言葉に置き換えてください。ジャズで

スタンダードジャズといえば多くの方に認められ高い評価を受けている楽曲を意味します。ゴールドスタンダード（黄金律）といえは診断や評価の精度が高いものとして容認された手法を意味します。標準治療は、それぞれの疾患のそれぞれの状況における「テッパン」なのです。（もちろん、実際の治療内容は治療を受けられる方の状態に合わせてます。）地域がん診療連携拠点病院の役割は、地域の皆さまに、様々な意味で「テッパン」の治療や支援を提供・提案することにあります。



出典：千葉県ホームページ
「がん診療連携拠点病院等」

人間ドックのお知らせ

病気の早期発見及び健康の維持増進を目指し、自身の健康状態を把握することができる人間ドックをこの機会に受診されますようご案内いたします。

実施している曜日 毎週水曜日と金曜日（予約制）

申込方法 電話（0439-65-1251）か、直接ご来院していただき、お申込みください。

基本検査項目、オプション検査及び費用の詳細については、お問い合わせください。

外来担当医一覧について

右のQRコードよりアクセスすることで、大佐和分院の外来担当医一覧をご確認いただけます。



大佐和分院からの お知らせ